

【教育目標】

大きな夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
 歴史と伝統を引き継ぎながら、子どもたちにしっかりとした学力（知・徳・体）を身に付けさせます（継承と発展）

めざす子ども
めざす教職員
めざす学校

あいさつ ...生活の基本
 姿勢（学習規律，服装） ...学ぶ基本
 一生懸命 ...生き方の基本

1
学期
2
学期

最終評価

	中期経営目標	短期経営目標	評価	目標達成のための方策	評価指標	担当分掌	評価	評価	評価	備 考	
										1 学期	2 学期
知・徳・体の基礎・基本の徹底	知	基礎学力の徹底を図ります。 ことばの力，論理的思考力を育てます。 英語活動を行い，コミュニケーション能力を高めます。 学習規律と家庭学習の定着を図ります。	3	・国語・算数の基礎・基本の定着のため毎日宿題を出し，学習内容の定着を図る。	・学期末テストで，全国平均点より高い児童を75%以上とする。	研修	3	3	3	国語(80.0%)，算数(74.5%)で，両教科とも向上。基礎基本の徹底と宿題の内容の充実を図る。	
				・国語・算数の授業では，「書く」ことを取り入れて，考える場を設ける。	・宿題を毎日やりきる児童100%とする。	研修	3	3	3	平均 96.5% ほぼ達成。宿題は継続して取り組む。	
				・「言語技術」の習得を毎週火曜日のチャレンジの時間に実施する。	・「結論を先に述べ理由・根拠が言える。」児童を85%以上とする。（教員による評価）	研修	3	3	4	国語・算数の両教科で79.5%。目標を達成したが，「書く」内容を明らかにして取り組む。	
				・英語活動についての研修を5回以上行う。 ・HRTが指導案作りをする。	・「結論を先に述べ理由・根拠が言える。」児童を85%以上とする。（教員による評価）	研修	3	3	3	結論先行で述べる児童(93.6%)，理由をきちんと言う児童(77.5%)，2つの平均が85.6%で概ね達成した。効果的だった「書く」を継続して取り組む。	
				・学習規律をつける。 （背筋を伸ばして聞く。反応して聞く。）	・全時間の指導案を作成する。	研修	3	3	3	指導案は全時間の90%以上作成できた。来年度は今年度の指導案をもとに外国語活動の充実を図っていく。	
	徳	表現活動を充実させ，感性豊かな子どもを育てます。 一生懸命取り組むことで，夢をもつ子どもを育てます。 挨拶のできる子を育てます。	3	・地域の時間を各学年で地域についての教材開発を行い実践する。	・地域の教材化を行った学年の割合を100%にする。	研修（道徳）			4	全学年で地域を教材化し，実践することができた。	
				・顔をみて，はっきり笑顔であいさつをする。	・生活振り返りカードや保護者のアンケートで，3学期の結果が春の結果を下回らないようにする。	生活保体		3	4	1学期(94.3%)，2学期(96.5%)，3学期(99.6%)となり，目標達成。	
				・自己目標を設定させ，支援・評価する。	・自己目標へ向けて「一生懸命取り組んだ」と答える児童の割合を75%以上にする。	表現	4		4	88%の児童が肯定的な評価をしており，十分達成した。	
				・大きな口をあげ，生き生きと歌う。	・アンケートによる各担任の評価で，肯定的評価を85%以上とする。	表現	2	3	3	83%の児童が肯定的な評価をしており，概ね達成した。レベルを示して継続指導。	
				・食育の推進を図ります。	・三点固定の取り組みを進め，睡眠時間を確保する。	4	・家庭との連携を密にとり，生活振り返りカードの取り組みを進める。	生活保体	4	4	4
体	体力づくりに取り組みます。	3	・「食」に対する意識を高める。	・食に関する保健朝会を年に3回，職員の研修を2回実施する。	生活保体	3	3	3	食に関する保健朝会を年に9回実施した。職員の研修は1回の実施であった。次年度は，職員研修の実施と特活での指導を行う。		
			・柔軟性を高める。	・ジョギング時や体育の時間に柔軟性を高める運動を取り入れる。	生活保体			3	3	記録が向上した児童は73%，まだ不十分であった。（達成率は86%。）柔軟体操の指導を継続する。	
			・大田小学校の伝統をさらに高めます。	・生活科や総合的な時間に地域とのふれあいを取り入れ，地域や大田小の伝統を高める。	4	・地域を題材にしたり，地域の人を招く。	研修（総合）	3	3	4	全学年で2回以上の教材化を行った。
特色頼まれる学校	小中連携を推進します。 開かれた学校にします。	3	・そうじの取り組みを学校の月目標や学級の目標にする。	・生活振り返りカードで，肯定的評価の児童の割合を90%以上とする。	生活保体	2	3	3	87.8%で目標達成には一歩届かず。（97.6%の達成率）次年度の重点指導項目として継続指導。		
			・中学校との連携を密にとり，学力の向上や生徒指導を充実させる。	・中学校の先生を招いたり，児童が中学校に行ったりして交流する機会を設ける。	教務	3	3	4	週に1度の生徒指導主事連携の継続。オープンスクール・小中合同のクリーン大作戦の実施。		
			・学校から情報を積極的に発信し，開かれた学校づくりを推進します。	・学級・学年・学校便りやホームページによる情報発信を行う。	研修（情報）	2	3	3	9月以降は，月に1回以上更新した。次年度は，ホームページのアクセス数を目標にする。		
			・適正な加配等の活用と教育課程管理を行う。	・少人数指導の実績簿の毎日確認。週案・実績簿・出席簿の適正な記入と整合性を毎週確認。	教務		3	4	4	計画通り実施しており，標準時数，指導形態とも適正に行っている。（3学期に項目追加）	

評価 4 = 十分達成(100%) 3 = 概ね達成(75%~99%) 2 = まだ不十分(50%~74%) 1 = 目標・方策の見直し(50%未満)